

北関東を見渡す浅見丘陵は、古くは旧石器時代から人々の活動が見られ、縄文時代、弥生時代と継続して人々が住みました。古墳時代前期、丘陵東端に前方後円墳の前山1号墳が造られ、丘陵から見える本庄台地が開発の対象となりました。以後、大久保山には平安時代まで多くの住居が継続して営まれます。175基以上の塚本山古墳群や、宍勝寺裏埴輪窯、浅見山中世瓦窯、製鉄炉など生産遺跡も展開します。大化の改新以後、班田収受法により周辺には条里の開発が進みました。鎌倉時代、それらの生産基盤をもとに、中世館が複数営まれ寺院が造られ、武蔵武士で最大勢力を誇る児玉党の本拠地となります。考古資料から人々の足跡をたどり、その意味と意義について展覧会を通して考えてみましょう。

浅見山 中世瓦窯跡

浅見山 中世寺院跡

大久保山 古墳時代住居跡

塚本山古墳群の測量調査

Mount OKUBO
The Origin of KODAMA
History of People and Life in Azami Hills

児玉の原点 大久保山

上越新幹線
開業
40周年記念

お問い合わせ

本庄早稲田の杜ミュージアム

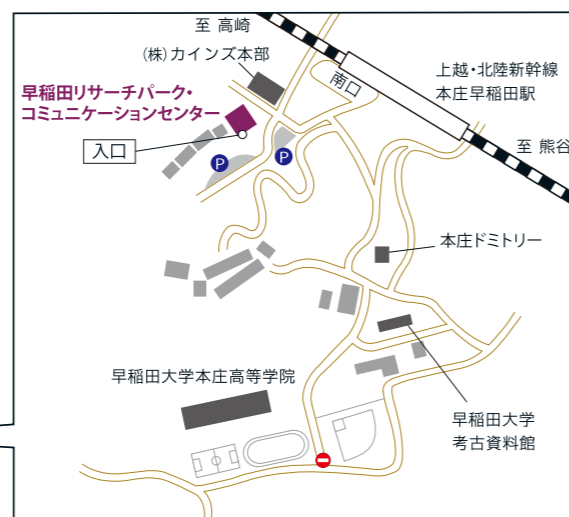
〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011

TEL: 0495-71-6878

Website: <https://www.hwmm.jp> E-mail: hwmm@city.honjo.lg.jp

アクセス

- ◆ JR 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅より徒歩約3分
- ◆ JR 高崎線 本庄駅南口 から はにぼんシャトル (所要時間13分)
「本庄早稲田駅北口」下車徒歩5分 または 本庄南口からタクシー10分
- ◆ 車 関越自動車道 本庄児玉ICから5分 無料駐車場あり



本庄早稲田の杜ミュージアム
早稲田大学展示室
早稲田大学本庄キャンパス 93号館 1階

2022 10・8 土
2023 2・5 日

●休館日: 午前9:00 ~ 午後4:30
●休館日: 月曜日(休日の場合は翌日)

●主催: 早稲田大学文化企画課考古資料館

●協力: 本庄市教育委員会 / 埼玉県立さきたま史跡の博物館

◆お問い合わせ 0495-71-6878 hwmm@city.honjo.lg.jp

◆早稲田大学考古資料館 0495-24-1081 wasedakouko@list.waseda.jp

本展覧会は、寄付者の皆様から「早稲田文化募金」を通じご支援を受けています。 https://kifu.waseda.jp/contribution/w_culture



大久保山を中心とした児玉地域は、河川灌漑や湧水灌漑など、大陸から導入された灌漑技術により水田開発が古墳時代に始まり、稲作を中心とした豊かな農作物の生産基盤が形成されます。

5世紀中葉以降、埴輪生産、須恵器生産や鉄生産、繊維生産、馬の飼育など、大陸から朝鮮半島を経由して人と技術と文化を受け入れました。7世紀には鋳型によるガラス小玉の生産も始まります。仏教が導入されると瓦生産、寺院建立へと変化します。やがて多くの武人を生み、東国開発の中心となり、陸路の東山道・東海道と利根川を利用した物流の拠点となります。豊かな農業の生産基盤の上に海外からの最先端の技術と人、文化により開発するあり方は、ハイテク工場が営まれる現在にも引き継がれています。

縄文時代



弥生時代



古墳時代



奈良・平安時代



江戸時代



鎌倉時代

